

第3 考査 世界史B 問題

I.文中の[]内に入れるべき語を記せ。また下線部の設問に答えよ。

< A >8世紀、ビザンツ皇帝レオン3世の出した[1]令をきっかけに、ローマ教会はコンスタンティノープル教会との対立を強め、11世紀中期、両教会はついに分離、①コンスタンティノープル教会を中心とする東方教会は[2]教会とよばれるようになる。

その間、ローマ=カトリック教会は②教会制度を整備するとともに、寄進や開墾によって荘園を獲得、封建領主としての性格を強め、教会においてはさまざまな腐敗が指摘されるようになっていった。こうした腐敗に対し③フランスの[3]修道院を中心に教会刷新運動が広がりを見せ、11世紀には④聖職叙任権闘争が発生した。

<設問>

①この教会について正しく説明したものを1つ選び記号で記せ。

- ア) 教会でのミサなどはラテン語を用いて行われる。
- イ) この教会の首長は皇帝がかね、皇帝は地上におけるキリストの代理人と考えられた。
- ウ) イエスは神には近いが基本的には人間であると考えられた。
- エ) 聖書を絶対視し、聖書によって意義づけられないものは否定された。
- オ) 偶像崇拜を完全に否定し、アラベスクとよばれる独特の模様で神への服従を示した。

②教会組織のなかで各国に教名おかれ、各国のカトリック教会の中心となったカトリックの役職の名をいえ。

③修道院について記した以下の文中で誤りを含むものを1つ選び記号で記せ。

- ア) 修道院は修道士または修道女が信仰を目的に共同生活を行う施設である。
- イ) 6世紀、イタリア中部のモンテ=カッシーノ修道院がヨーロッパ最古のものである。
- ウ) ベネディクトゥスは「清貧・服従・貞潔」の3つからなるベネディクトゥス戒律をさだめた。
- エ) 13世紀には民衆の中に入って教化するイタリアのフランチェスコ修道院やスペインのドミニコ修道院など托鉢修道会といわれるものが成立した。
- オ) 当時のキリスト教は勤労を軽視しており、修道院でも労働は農民たちに押しつけられていた。

④聖職叙任権闘争について記した以下の文中で誤りを含むものを1つ選び記号で記せ。

- ア) 教皇グレゴリウス7世は、聖職売買や聖職者の妻帯を禁止した。
- イ) 司教や修道院長などの任命権は皇帝などにあり、これを聖職任命権(聖職叙任権)といった。
- ウ) 教皇が聖職任命権を否定したことに反対した皇帝ハインリヒ4世は教皇から破門された。
- エ) 皇帝はドイツ国内の諸侯たちの協力を得て教皇と激しく争ったがついに破れ、教皇に屈服した。
- オ) こののちも皇帝と教皇の対立は続くが、1122年のウォルムス協約で妥協が成立した。

11世紀末に始まった ⑤十字軍の遠征は教皇の力を強化し、13世紀初めの[4]のとき絶頂に達した。しかし十字軍の遠征のたび重なる失敗は教皇への不信と、国王への信頼を増す結果となった。13世紀初頭、絶頂期をむかえた教会も、十字軍のたびかさなる失敗や王権の伸長の前にしだいに衰えはじめた。15世紀はじめ、教皇は聖職者への課税をめぐって仏王[5]に捕らわれ憤死する事件と呼ばれる事件が発生、その直後から⑥教皇のバビロン捕囚とよばれる事態が発生、これが解決した翌年の⑦1378年からも混乱が続いた。このような事態と並行してウィクリフらによって教義への疑問も出された。こうした動きに対し⑧15世紀初期に開催された[6]公(宗教)会議では皇帝らの手で教会の立て直しをすすめられた

<設問>

⑤十字軍の遠征について、その簡単な内容、開始までのいきさつ、参加・協力した人々(教会・諸侯・都市・農民など)がめざしたもの、などを5行程度でまとめよ。

⑥教皇のバビロン捕囚について説明した文を1つ選べ。

- ア) ユダヤ人が新バビロニアによって、バビロンの町へ連行され、強制的に労働に従事させられたこと。
- イ) ローマ教皇庁がアヴィニオンとローマに分裂し抗争したこと。
- ウ) フランス王によって、ローマ教皇が逮捕され、バビロンの町へ連れていかれたこと。
- エ) ローマ教皇庁がフランスのアヴィニオンに移ったこと。

⑦バビロン捕囚直後、教会をめぐって新たな事態が発生した。どのような事態か。

⑧の会議で決められたことを2つ選び、記号でいえ。

- (ア)十字軍の遠征を決定した。 (イ)アルビジオワ十字軍を派遣した (ウ)教会大分裂を終了させた
 (エ)アリウス派を異端とした (オ)フスを火刑にした。 (カ)三位一体説を正統と決定した
 (キ)宗教裁判所をつくった。

Ⅱ、[]内に入れるべき語を記し、下線部について設問に答えよ。

[1]を首都とするビザンツ帝国は、6世紀の①ユスティニアヌス帝のもとでいったん勢力を回復したが、7世紀になると西アジアを中心に[2]教世界が形成され、西ヨーロッパの自立も進む中で、この国は独自の性格をつよめていった。ヘラクレイオス1世は②テマ制を導入するとともに、公用語を[3]語とするなど改革を進めた。③11世紀以後この帝国の衰退は急速に進み、[4]年、オスマン＝トルコに滅ぼされた。

この国の伝統を伝えたのがロシア人である。9世紀、④ノルマン人がたて、⑤スラヴ化したキエフ公国の[5]はビザンツ帝国との関係を深め、⑥帝国の滅亡後、その後継者としての位置をになうことになる。

<設問>

①ユスティニアヌス帝とはかかわりのないものを1つ選び記号で記せ。

- (ア)ローマ帝国の再建をめざし地中海に進出、北アフリカ、イベリア半島の一部をも征服した。
 (イ)ローマ時代の法や法理論を集大成した「ローマ法大全」を編纂、法学の発展に大きな影響を与えた。
 (ウ)イタリアのサン＝ヴィターレ寺院には、彼の肖像がモザイク壁画の形で残されている。
 (エ)首都にビザンツ様式の代表ともいえるハギア＝ソフィア聖堂をたてた。
 (オ)国内の中央集権化をすすめるために、プロノイア制を導入した。

②テマ制について説明した文を1つ選び記号で記せ。

- (ア)国有地を貸与して軍役に奉仕させる制度
 (イ)主君が臣下に封土をあたえ、臣下は主君に忠誠をつくすという制度
 (ウ)土地所有者が土地を有力者に献じ保護下に入り、その土地を恩貸地としてうけとる慣習。
 (エ)学科試験によって広く人材を求める制度
 (オ)帝国をいくつかの軍管区に分け司令官に行政の権限を与え封建化を阻止しようとした制度

③こうしたなか、13世紀初頭、この帝国の首都が奪われるという事件が起こった。だれに奪われたのか、記せ。

④ノルマン人にかかわる以下の文章について誤りを含むものを1つ選び記号で記せ。

- (ア)バルカン半島にすむゲルマン人の一派。海上交易や海賊をおこなった。
 (イ)10世紀のはじめクヌートに率いられた一派は北フランスにノルマンディー公国をたてた。
 (ウ)彼らの一派はイタリア南部に両シチリア王国を建設した。
 (エ)イングランドは彼らによって征服された。現在のイギリス王もかれらの後継者である。
 (オ)彼らの一部はグリーンランドやアメリカ大陸にも到達した。

⑤西スラヴ人のポーランド人がバルトアニア人と連合して14世紀成立したポーランド＝リトアニア王国の王朝の名をいえ。

⑥その後ロシア人は約250年間東方から侵入した民族の支配下におかれる。侵入してきたのは何人か。

Ⅲ、[]に入れるべき適語を語群より選べ。また下線部について設問に答えよ。

<A>中世西ヨーロッパ社会の基礎は①封建制である。11世紀以降、封建制は網目状に広がり、社会を覆うようになっていった。王や諸侯、聖職者などの領主はしだいに[1]とよばれる封土(領地)を世襲化、農民に対しては[2]を行使する一方、外部の勢力には[3]を主張、外部の介入を排除した「独立した小国家」的性格をつよめた。

こうしたなか、②農奴とよばれる中世ヨーロッパの農民たちは領主直営地で働くという[4]の義務のほか、貢納など領主への負担、[5]など教会への負担も義務づけられていた。

しかし12～13世紀になり、③農業の技術改良がすすみ生産力が向上してくると、領主たちは[6]を廃止し、[4]にかわって農民に[7]を課すようになっていった。

こうしたなか、農民の生活も向上、④貨幣(解放金)とひきかえに農奴身分から解放される者もでてきた。⑤14～15世紀の戦乱と[8]による農村人口の激減はこうした動きを加速した。

- (ア)貢納(生産物地代) (イ)労働 (ウ)農民保有地 (エ)黒死病 (オ)コレラ (カ)十分の一税 (キ)賦役
 (ク)領主直営地 (ケ)荘園 (コ)領主裁判権 (ク)不輸不入権

[設問]

①封建制を定義づけた以下の文の空欄に適語を入れよ。

封建制とは領主同士が(A)を媒介として(B)関係を結ぶ封建契約を基礎としている。

②次にあげた項目を**奴隷、農奴両方にあてはまるもの(A)、奴隷にのみあてはまるもの(B)、農奴のみにあてはまるもの(C)、どちらにもあてはまらないもの(D)**、に分類しなさい。

- (ア)働けば少しでも生活が楽になった。
- (イ)主人に売買された
- (ウ)自由に仕事をかえたり、仕事がイヤなら出て行くこともできた。
- (エ)領主のもとで強制的に働かされた。
- (オ)土地代は払ったが、自分のものとしてつかえる土地があった。

③この時期の農業の技術改良の例を一つあげよ。

④このように農奴身分から解放された農民のことをどのようにいうか、記せ

⑤この戦乱の中、イギリスで発生した農民反乱の名をいえ。

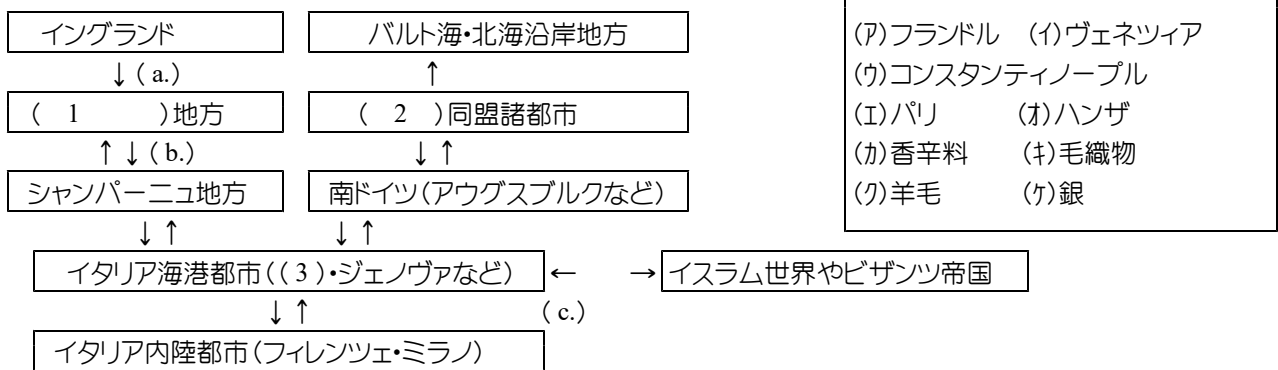
<2>都市をはじめは領主の支配下におかれていたが貨幣と引きかえに特許状をえて、しだいに自治権を獲得していった。北イタリアでは周囲の農村を含めた[9]の形をとり、ドイツでは[10]の形をとった。

都市を支配したのはギルドと呼ばれる[11]であった。はじめは大商人中心のものであったが、都市の発展につれてしだいに**⑥手工業者が職種別に[12]ギルドをつくるようになってきた**。そしてかれらは市政を独占する[13]ギルドと争い、しだいの政治に参加しはじめた。ドイツではこの争いを[14]闘争という。

- (ア)ツンドラ (イ)ツンフト (ウ)都市共和国 (エ)自由都市 (オ)都市同盟 (カ)同職 (キ)商人 (ク)同業組合

⑥このようなギルドは、参加できる業者の数、製造・販売の量や方法、品質基準などを統一していた。なぜこのようなことをしたのか、その理由を記すとともに、このようなやり方の弊害を記せ。

IV、中世後期における東方貿易と遠隔地交易について記した以下の図に入れるべき適語を選び、記号で記せ。なお数字は地名を、小文字は物資をさす。



V、次の説明文が示す人物の名前を下の語群から選び記号で記せ。

- 1.15 ～ 16 世紀イタリアの芸術家・科学者。『モナ＝リザ』『最後の晩餐』などの絵画のほか、解剖学をはじめとする自然諸科学と応用技術にも才能を示した万能の天才。
- 2.16 世紀イタリアの芸術家。彫刻『ダヴィデ』や壁画『最後の審判』などを制作するとともに、サン＝ピエトロ大聖堂の設計にもかかわった。
- 3.15 ～ 16 世紀イタリアの航海士・探検家。地球球体説を信じ、スペイン王の援助でインドをめざし、アメリカ大陸に到達した。
- 4.16 世紀ドイツの宗教家。ローマ教会が販売した贖宥状を批判して九十五か条の論題を発表することで宗教改革のきっかけをつくった。
- 5.16 世紀フランス・スイスの宗教家。スイスのジュネーブを拠点に宗教改革をすすめた。予定説をとき、厳格な勤労道徳を求めた。
- 6.16 世紀イギリスの国王。統一令を出し、イギリス独自の教会を確立した。東インド会社の設立やスペインの無敵艦隊を破るなど、海外進出をすすめた。
- 7.16 ～ 17 世紀イギリスの文学者、劇作家。『ヴェニスの商人』や『ハムレット』などで有名
- 8.17 ～ 18 世紀、フランスの国王。フランスの絶対主義の全盛期ブルボン朝の国王。4回にわたる侵略戦争を行ったり、ヴェルサイユ宮殿を建設したりした。
- 9.18 世紀フランスの啓蒙思想家。「社会契約論」や「人間不平等起源論」などで、人民主権論を展開し、フランス革命に大きな影響を与えた。また教育論「エミール」なども有名。
- 10.18 世紀フランスの啓蒙思想家。『法の精神』を著し、三権分立を主張した。
- 11.18 世紀イギリスの経済学者。『諸国民の富』を著し、自由主義的な経済が国を豊かにするとした。経済学の父とも呼ばれる。
- 12.18 世紀アメリカの軍人・政治家。独立戦争の総司令官としてイギリス軍を破り、のちアメリカ初代大統領となった。
- 13.18 ～ 19 世紀フランスの軍人・政治家(皇帝)。フランス革命の混乱の中で台頭し、政権を獲得、皇帝となりヨーロッパ各地に遠征、大陸全土を支配下に置いた。モスクワ遠征に失敗し没落。
- 14.19 世紀ドイツの思想家・社会主義者。エンゲルスとともに『共産党宣言』を著し、哲学・経済学・歴史学などを総合した唯物史観をもとに、社会主義の必然性を鋭いた。『資本論』も有名。
- 15.19 世紀ドイツの政治家。プロイセンの宰相として、普仏戦争などを指導し、ドイツ統一を実現。ドイツ統一後は社会主義者などと対決するとともに、平和外交をすすめた。

(ア)ナポレオン＝ボナパルト (イ)レオナルド＝ダ＝ヴィンチ (ウ)マルクス (エ)カルヴァン (オ)モンテスキュー
(カ)ビスマルク (キ)マルティン＝ルター (ク)ワシントン (ケ)ミケランジェロ (コ)コロンブス (サ)アダム＝スミス
(シ)ルイ14世 (ス)シェークスピア (セ)エリザベス1世 (リ)ルソー

VI、以下の用語を解答とするような問題を作成せよ。

- (1) 神聖ローマ帝国
- (2) ノルマンの征服
- (3) カペー朝